

斐伊川・神戸川治水事業の推進について

【国土交通省】

提案・要望の内容

斐伊川・神戸川治水事業を推進すること。

大橋川改修及び宍道湖・中海湖岸堤防の整備促進

- ・ 背後の町並み整備に配慮した事業の実施
- ・ 環境・景観に配慮した事業の取組
- ・ 下流部中海地域への理解促進

ダム建設の促進（志津見ダム・尾原ダム）

- ・ 計画工期（平成22年度末）での完成

斐伊川放水路建設の促進

- ・ 計画工期（平成20年代前半）での完成

【現状と課題】

現 状（進捗状況）

平成18年7月豪雨では、大橋川が氾濫し松江市が浸水するなど、多大な被害をもたらした。・・・ **大橋川改修について、早期整備の必要を再認識**

課 題

志津見ダム、尾原ダム、斐伊川放水路の早期完成

住民の安心・安全を図るため、志津見ダム、尾原ダム、斐伊川放水路の早期完成が望まれる。

大橋川改修を円滑に進める河川事業の弾力的な運用

大橋川改修事業においては、新たに生ずる河岸とその背後地との高低差の緩和や公共施設の再配置など、背後の市街地整備と一体となった事業実施が必要であり、これらに柔軟に対応する河川事業の弾力的な運用が必要である。

【本県の取組状況・方針】

尾原ダムを水源とする斐伊川水道建設事業を実施中（平成22年度の完成目途）

住民と一体となった地域活性化の取組み

尾原ダム「地域に開かれたダム整備」、放水路「周辺・菌の長浜地域整備」等大橋川改修の促進

大橋川改修を促進するためには、市民合意を得ることが必要であり、計画段階から住民参画による「まちづくりと一体となった大橋川改修の具体的計画」を策定するため、国、県、松江市が一体となり「大橋川周辺まちづくり検討委員会」を設置し、治水と環境とまちづくりが調和した事業の実現に向け取組中

【提案・要望の効果】

ダム建設（志津見ダム、尾原ダム）、斐伊川放水路建設の促進

- ・ 流域住民にとって、安心・安全な河川環境が実現する。

大橋川改修の促進

- ・ 過去幾度となく浸水被害を受けた松江市にとって、安心・安全な都市環境が実現する。
- ・ 城下町のたたずまいや風情と調和した手法での河川改修事業を行うことにより、中心市街地のにぎわい創出や、国際文化観光都市としての魅力が向上する。

斐伊川・神戸川治水事業



下流部の大橋川改修と中海・宍道湖湖岸の整備
中流の斐伊川放水路の建設と斐伊川本川の改修
斐伊川と神戸川の上流にダムを建設

・ 上流部の2つのダム、中流部の放水路は、順調に進捗中



志津見ダム・尾原ダム 平成22年度末 完成
斐伊川放水路 平成20年代前半 完成予定

・ 下流部の大橋川改修の早期着工

大橋川の現況



平成18年7月豪雨の様子



H18.7.19 大橋川右岸 (水位 1.96m)



H18.7.19 松江市内 (浸水深 0.5m)



H18.7.19 JR 松江駅前 (浸水深 0.5m)